

## 「総合力のつくりハビリテーション専門職」研修会の概要

「人々の活動を育む」リハビリテーション医学に基づいたリハビリテーション医療においては、リハビリテーション科医師と各種の専門職がリハビリテーション医療チームを組み、患者さんの治療に取り組んでいます。チーム医療では、お互いの役割を尊重し、理解し合うことが重要であります。すなわち、専門性の研鑽と職種間の融合という2つポイントがリハビリテーション医療では大切になります。これらの課題に対処していくためには、それぞれの職種が相互に理解し専門性を学ぶ機会が必要です。「総合力がつくりハビリテーション専門職」研修会では、日本リハビリテーション医学教育推進機構が各専門職の領域を超えてリハビリテーション医学・医療全般を幅広く学ぶために企画したものであり、指導的立場に立つリハビリテーション専門職が知っておくべき項目を幅広く学べる内容を目指しています。

研修会は、2020年12月から2021年3月までの間に合計3日間開催を予定しています。講師には、臨床経験が豊富な先生方をお願いし、体系的かつ具体的な研修会プログラムとする予定にしています。

1. 研修会の名称「総合力のつくりハビリテーション専門職」研修会
2. 会 期 第1日 2020年12月19日(土)  
第2日 2020年12月20日(日)  
第3日 2021年 3月14日(日)  
\* 全3日間となります。  
各回 9:30~17:30(予定)
3. 会 場 国立京都国際会館  
京都市左京区岩倉大鷲町422
4. 主催 日本リハビリテーション医学教育推進機構  
日本リハビリテーション医学会
5. 受講対象・申込資格  
現在リハビリテーション医療チームの構成員である専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等)の方で、臨床経験 5年以上
6. 申込受付 2020年8月下旬以降にHPから申込を受付の予定です。  
\* 新型コロナウイルスの感染拡大等により遠隔地からの参加が困難な方を対象にLive配信による受講も検討中です。  
\* その他申込方法、受講料等詳細は決まり次第ご案内いたします。

8. プログラム内容 \*プログラムは都合により一部変更することがあります。

#### 2020年12月19日(土) (第1日)総論

- ① 総論Ⅰ
- ② 総論Ⅱ
- ③ 理学療法
- ④ 作業療法
- ⑤ 言語聴覚療法
- ⑥ ナーシング
- ⑦ 義肢装具療法
- ⑧ 薬物療法
- ⑨ 栄養管理
- ⑩ 手術療法
- ⑪ 患者心理
- ⑫ ソーシャルワーク
- ⑬ 感染症対策

#### 2020年12月20日(日) (第2日)各論

- ① 脳血管障害・頭部外傷
- ② 神経筋疾患
- ③ 脊髄損傷
- ④ 脊髄疾患・運動器疾患
- ⑤ リウマチ性疾患・骨粗鬆症
- ⑥ 切断
- ⑦ がん
- ⑧ 循環器疾患
- ⑨ 呼吸器疾患
- ⑩ 腎疾患・内分泌代謝性疾患
- ⑪ 小児
- ⑫ 消化器周術期/ICU
- ⑬ 摂食嚥下障害
- ⑭ 訪問リハビリテーション

#### 2021年3月14日(日) (第3日)各論、教育・研究体制、管理運用、修了認定テスト

- ① サルコペニア、ロコモティブシンドローム、フレイル
- ② 疼痛
- ③ 認知症
- ④ 福祉用具他
- ⑤ ロボット
- ⑥ 痙縮治療(ITB,ボツリヌス療法)
- ⑦ 教育・研究体制
- ⑧ 管理運用
- ⑨ まとめ
- ⑩ 修了認定テスト \*3日間受講して認定試験に合格した方には修了証を授与いたします。